

経営 プロジェクト予算の適正化

原題 : Getting the budget right
誌名 : RGI : Railway Gazette International Vol.169 No.11 (2013-11) p34-36

鉄道プロジェクトはコストの高騰や事案の変更・廃止などにより、当初の予算設定による計画の実施が困難になる事例が世界的に多くみられる。オーストラリア鉄道では、計画初期の段階での見積りやコストの信頼性を高める基準を設けることで、予算の精度を上げている。地方鉄道の建設にあたっては、ライフサイクルに応じた適切な投資管理とともに、利用客の動向などを幅広く考慮したコスト算定を行うことが重要である。



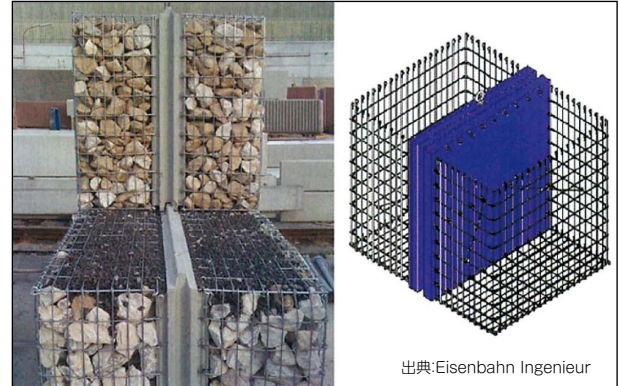
出典 : Railway Gazette International

新路線が従来路線に併設される場合の、跨線橋の架け替え

構造物 鉄道の防音壁としてガビオン(蛇かご)を適用

原題 : Der Einsatz von Gabionen als Lärmschutzwände im Eisenbahnwesen
誌名 : EI : Eisenbahningenieur Vol.64 No.11 (2013-11) p11-14

ドイツの鉄道路線で、視覚的、音響的および構造的な特長から、ガビオン(蛇かご)を防音壁として用いることが増えてきている。このようなすう勢のなかで、本記事では、考慮すべき基準、効率的な建設方法および連邦鉄道庁における認可手続きなどが幅広く論じられている。



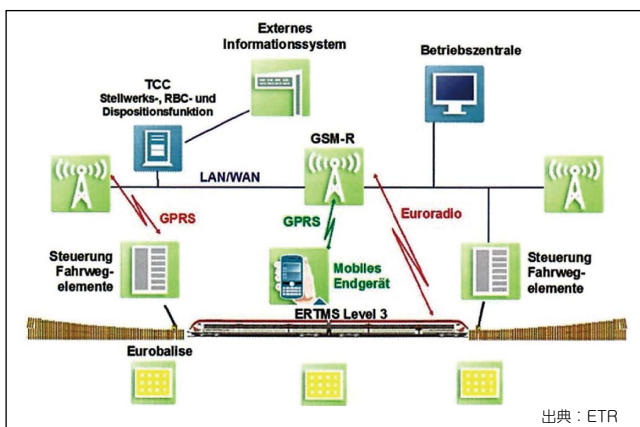
出典:Eisenbahn Ingenieur

Best Metall社の運搬可能なかご構造システム

信号 ERTMS Regional—地方鉄道線区のためのETCS Level 3プロジェクト

原題 : ERTMS Regional-Ein ETCS Level 3 Projekt für regionale Strecken
誌名 : ETR : Eisenbahntechnische Rundschau Vol.62 No.11 (2013-11) p14-17

密接に接続した鉄道ネットワークにおいて、円滑な運行を確保したり信号システムの切り替えを避けたりするためには、地方交通線を結合して調和のとれた総合的な列車運行を実現することが必要不可欠である。ERTMS Regionalプロジェクトは、低コストで安全かつ効率的な鉄道輸送を、特に地方交通線で可能にするものである。



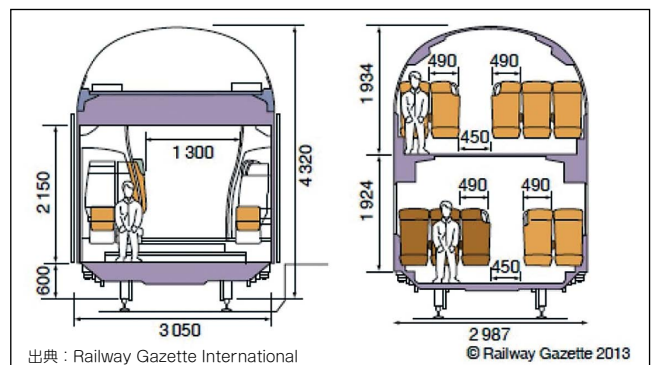
出典 : ETR

ERTMS Regionalプロジェクトにおける情報伝達
(出典 : ホンバルディア)

車両 フランスのユニークな構成の新車Regio 2Nが公開

原題 : Pick-and-mix formula offers flexible formations
誌名 : RGI : Railway Gazette International Vol.169 No.11 (2013-11) p54-57

フランス北東部のホンバルディア社のクレスパン工場で、従来にないユニークな車両構成のRegio 2N電車が公開された。1編成のなかで一方の先頭車は1階建てであるが、反対側は2階建てとなっており、中間車は2階建てと1階建てが交互に隣り合う構成となっている。1階建て車両は屋根裏に機器を搭載し、中間の2階建て車両は2種類の車体長を選ぶことができ、編成長は81~135mの範囲で可能となる。



屋根裏に機器を搭載するスペースがある1階建て車両(左)と、3+2の座席配置がある2階建て車両(右)



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄訳を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合先 (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp